

令和5年度学校評価（年度末評価）

項目（担当）	重点目標	具体的方策	結果と課題	達成度
本年度の 重点目標	(1) カリキュラム・マネジメント<つながりを大切にする学校> ア 12年間の学びの連続性を意識した各部の教育活動の体系化 イ アセスメントに基づいて3観点を意識した教育活動の展開 (2) スクール・マネジメント<安心安全な学校・地域と共にある学校> ア 業務の見える化や効率化を通したゆとりある学校づくり イ 保護者や地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり (3) スタッフ・マネジメント<高い教師力のある学校> ア 学習支援及び校務分掌におけるICTの活用 イ 校内支援体制の充実によるPDCAに基づく授業改善			
小学部	アセスメントに基づいて3観点を意識した教育活動の展開(1)イ	・生活自立に向けて、落ち着いて自発的に行動する基礎の力を育てる。	・学年会等で児童の学習達成度を確認したことで、PDCAによる授業づくりができた。今後も児童の自発性を促せるよう努めていきたい。	80%
中学部	12年間の学びの連続性を意識した各部の教育活動の体系化(1)ア	・小学部（小学校）で身に付けた力を、社会自立に向けて集団の中で発揮できるようにする。	・校内実習や作業班の見直しをすることで、卒業後の生活を見通した教育活動の実践を行った。継続して整備を進めていきたい。	80%
高等部	保護者や地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり(2)イ	・中学部（中学校）で身に付けた力を、地域社会の一員として発揮することができる力を育てる。	・保護者、実習先、相談支援、行政、SC等との連携を通して、各課題解決に努めた。今後も関係機関と連携を維持・強化していく。	90%
総務部	業務の見える化や効率化を通したゆとりある学校づくり(2)ア	・行事を見える化し、他の校務分掌と連携する。 ・地域と連携・協働する。	・学校行事について、各校務の業務分掌を一覧にすることで、効率的に分担できるようにした。今後は業務の内容をさらに整理する。	80%
教務部	業務の見える化や効率化を通したゆとりある学校づくり(2)ア	・業務を整理し、見える化、効率化を図ることで、教材研究等の時間を確保する。	・提案を精選し一覧にして議案書に示したことで、効率的に会議を進めることができた。今後も継続して効率化を進めたい。	90%
生徒指導部	学習支援及び校務分掌におけるICTの活用(3)ア	・緊急時の引渡しの迎えに関する質問や、生徒への生活アンケートにおいて、web回答を活用する。	・メール訓練や生活アンケートについて繰り返し改善を図り、結果を一覧にまとめた。今後は、結果一覧表をより確認しやすく工夫する。	90%
進路指導部	保護者や地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり(2)イ	・地域の企業や福祉施設等との連携促進を進める。	・地域の企業に新規の実習の受入れを依頼し、連携を進めることができています。今後は新規の福祉施設との連携を進める。	80%
保健体育部	保護者や地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり(2)イ	・職員や保護者との連携や啓発を行い、歯磨き習慣の定着に取り組む。	・学級や各集会で口腔についての取組や教材を家庭へ配布することで、口腔衛生の啓発を行った。今後も継続して取り組んでいく。	80%
研修研究部	学習支援及び校務分掌におけるICTの活用(3)ア	・学習支援や校務分掌でのICTの活用方法を知り、情報の整理に取り組む。	・アプリの内容確認やICTを活用した教材作成に取り組んだことで、知識や理解が深まった。今後も児童生徒の学習効果を高めていく。	80%
情報図書部	学習支援及び校務分掌におけるICTの活用(3)ア	・ICTを活用した授業づくりを進めるため、ICTについての研修やICT機器を使いやすい環境づくりに取り組む。	・各部の実情に応じた研修や生成AIを活用するための研修を行った。ICT機器の借りやすさ、使いやすさは今後も検証していく。	80%
教育支援 ・ 自立活動部	保護者や地域との連携促進と学習環境改善を通した学校づくり(2)イ	・関係機関の情報を収集し、活用しやすい整理の仕方を提案する。 ・外部専門機関と連携し、自立活動の研修や事例検討会を計画、実施する。	・放課後等デイサービスの情報をデータで管理し、手軽に見ることができるようにした。更に職員に周知できるように努めたい。 ・外部専門家による研修会等を実施した。子供の困り感を分析的に捉え次への支援を考えることができた。来年度も継続実施したい。	80% 90%
学校関係者評価を実施する主な項目		○カリキュラム・マネジメント ○スクール・マネジメント ○スタッフ・マネジメント		